

セラミックタイルはワックスの塗布を必要としない比較的メンテナンスの簡単な製品ですが、何もせず美観を保てるものではありません。セラミックタイルを美しく保つには、日常の清掃・管理・汚れを持ち込まない配慮が必要です。入口部分にはマットの設置等、汚れを持ち込まないこと、汚れたらすぐに拭き取ることが重要です。タイル表面に水が残った状態は、転倒の原因となるおそれがありますので、固く絞った雑巾やモップ等ですぐに除水することも重要です。

## ■用途別お手入れ方法

	日常のお手入れ	備考
屋内床	ほうきや集塵機を使用し、フロアの細かい埃、土砂などの汚れを除去します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●洗浄の際は、中性洗剤を使用してください。</li> <li>●汚水は完全に回収してください。濡れたまま放置しますと、滑りや水垢の原因となります。</li> </ul>
	タイル表面に付着した汚れを、モップを使用して除去します。	
	水拭きモップだけで汚れが落ちにくい場合や、モールなどの大きな面積の床では、自動床洗浄機を使用して汚れを洗浄します。	
屋外床	ほうきやスーパードで掃き掃除を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●汚水は完全に除去してください。濡れたまま放置しますと、滑りや水垢の原因となります。</li> <li>●集中的にポリッシャーを使用しますとタイルを傷付ける場合がありますので、ご注意ください。</li> </ul>
	靴から付着した土砂などの汚れは、ブラシ等を使用し、水で洗い流します。	
	汚れが広範囲に渡っている場合は、洗浄に適合したナイロンブラシを装着したポリッシャーを用いて洗浄してください。	

※セラミックタイルは、製品によって細孔が不均一で数の多いものや、デザイン的に複雑な凹凸のあるものなど様々です。細孔内に汚れが侵入すると除去が困難となり、凹凸の形状によって汚れのつき易さ、除去のしやすさが異なるため、汚れやすい製品には汚染防止のメンテナンスを行うなど使用しているタイルに応じた適切な清掃、維持管理が必要です。

## ■汚れの種類による除去方法

汚れの種類	作業手順
泥汚れ・生製品のドリップ等	固く絞ったモップ、ウエスで水拭きします。ひどい場合はアルカリ性洗剤を薄めて塗布し、ハンドパッド(白もしくは赤)で擦り落とし、水洗いします。
しょうゆ・油・ジュース・水性インク等	水またはお湯で拭き取ります。特に油汚れにはお湯が効果的です。落ちない場合はアルカリ性洗剤を上記と同様に薄めて、ハンドパッド(白もしくは赤)で擦り落とし、水洗いします。
チューインガム	へらで削り取った後、ベンジンを使用して拭き取ります。
ペンキ・靴墨	汚れを広げないように、ベンジンを使用して拭き取ります。
動物の分泌物	ウエスで拭き取った後、水またはお湯で完全に拭き取ります。

### 注意事項

- ・セラミックタイルの大敵は「土砂による傷」「水や油による滑り」です。各種マットを敷くだけでこれらを最小限に抑えられます。
- ・タイル表面に水や油をこぼした場合は、必ずすぐに拭き取ってください。転倒の原因となるおそれがあります。
- ・バックヤードや各種作業室内から店舗内に入るときは、靴底、カート車輪等の汚れを持ち込まないようにしてください。
- ・上記は標準的なメンテナンス方法になります。現場に応じて適切なメンテナンス方法がある場合もありますので、メンテナンス会社様等へもご相談ください。
- ・汚れの付着防止・軽減には、必要に応じてタイル用の保護剤や防汚剤をご検討ください。
- ・(外床タイプ)ラフタイプのタイルは、製品の特性上汚れが付きやすい場合がありますので十分ご検討の上で採用をお願いします。
- ・ご不明な点や詳細は弊社営業員までお問い合わせください。

⚠ 磨きタイプの商品は、濡れると滑りやすくなり転倒の危険があります。ご選定の際はご注意ください。万が一水濡れした場合は速やかに除水するか、マットを設置するなど濡れたセラミックタイルを直接踏まないようにしてください。